

このシラバスは、「情報処理基礎」に関するものです。

この科目は、専門科目ですから、シラバスは各学科が管理します。

しかし、2012年度は混合クラスで実施しますので、例えばM科の学生は 1-1 から 1-5 までのどこかのクラスで学ぶことになります。従って、5枚のシラバスを、各学科で掲載してもらうことにいたしました。

次のページから各クラスのシラバスをご覧になれます。

クラスによって、

- ・担当者が異なる。
- ・実施する曜日が異なる。
- ・前期中間試験までに実施する回数が異なることがある。

授業の進み方は、大きく2つのグループに分けられる。

1-1と1-3と1-4が一つのグループであり、1-2と1-5がもう一つのグループである。

という違いがあります。

しかし、基本的にはどのクラスでも同じ教育が行われます。ある週だけ見るとクラスごとに進み方に違いがあるように見えるかもしれませんが、平均的には各クラスの授業の進み方はほぼ同じペースですし、年間の授業回数は同じですから最終的に学ぶ内容も同じです。

1-1クラスと、1-3クラスの担当は非常勤の教員であり、授業の無い曜日には沼津高専には出勤しません。そのクラスの学生が、別の曜日に授業に関する質問をしたい時は、同じ授業をする別の教員に問い合わせることができます。

※ 第1回目の授業の学生集合場所は、1-1 から 1-5 までのホームルームです。そこで着席して待っていてください。時間には担当教員がホームルームまで出向き、そこから総合情報処理センターまで案内します。

学年	1	科目	情報処理基礎	講義	通年	学習教育 目標	担当	内田正章 Masaaki UCHIDA
学科(1年は775)	11	科目 分類	Introduction to Information Technology	必修	2単位	1		
概要	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際に、ルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、本講義では、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。							
科目目標 (到達目標)	コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを持って利用できる。							
教科書 器材等	インターネット社会を生きるための情報倫理2012(実教出版) 情報セキュリティ読本三訂版(実教出版) ネットワーク社会における情報の活用と技術三訂版(実教出版)							
評価の基準と 方法	4回の定期試験80%、プレゼンテーション・課題レポート・小テスト20%により評価する。授業内容に関わる違法行為等があった場合は特別に減点する場合がある。							
関連科目	各科の情報系科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		総合情報センター利用案内						
第2回		電子メールによる情報の受信・発信						
第3回		Webページによる情報の受信・発信						
第4回		情報社会の個人情報と知的財産						
第5回		情報社会における生活						
第6回		Scratchによるプログラミング実習						
第7回		復習						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		セキュリティを守る技術						
第10回		ワードプロセッサ						
第11回		ワードプロセッサ						
第12回		プレゼンテーション						
第13回		プレゼンテーション						
第14回		プレゼンテーション						
第15回		復習						
第16回	×	前期末試験						
第17回		スプレッドシート						
第18回		スプレッドシート						
第19回		コンピュータの仕組み						
第20回		情報のデジタル表現						
第21回		情報のデジタル表現						
第22回		情報ネットワーク						
第23回		情報ネットワーク						
第24回		復習						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		コンピュータを利用した問題解決(1)						
第27回		コンピュータを利用した問題解決(2)						
第28回		コンピュータを利用した問題解決(3)						
第29回		コンピュータを利用した問題解決(4)						
第30回		コンピュータを利用した問題解決(5)						
第31回		コンピュータを利用した問題解決(6)						
第32回		復習						
第33回	×	学年末試験						
第34回		総括						
オフィスアワー	非常勤のため、質問に対応できるのは開始前または終了後							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	20120330 新規							

学年	1	科目	情報処理基礎	講義	通年	学習教育 目標		鈴木康人
学科(1年は775)	12	科目 分類	Introduction to Information Technology	必修	2単位	1	担当	Yasuhito SUZUKI
概要	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際に、ルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、本講義では、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。							
科目目標 (到達目標)	コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを持って利用できる。							
教科書 器材等	インターネット社会を生きるための情報倫理2012(実教出版) 情報セキュリティ読本三訂版(実教出版) ネットワーク社会における情報の活用と技術三訂版(実教出版)							
評価の基準と 方法	4回の定期試験80%、プレゼンテーション・課題レポート・小テスト20%により評価する。授業内容に関わる違法行為等があった場合は特別に減点する場合がある。							
関連科目	各科の情報系科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		総合情報センター利用案内						
第2回		電子メールによる情報の受信・発信						
第3回		Webページによる情報の受信・発信						
第4回		情報社会の個人情報と知的財産						
第5回		情報社会における生活						
第6回		復習						
第7回	×	前期中間試験						
第8回		Scratchによるプログラミング実習						
第9回		セキュリティを守る技術						
第10回		ワードプロセッサ						
第11回		ワードプロセッサ						
第12回		プレゼンテーション						
第13回		プレゼンテーション						
第14回		プレゼンテーション						
第15回		復習						
第16回	×	前期末試験						
第17回		スプレッドシート						
第18回		スプレッドシート						
第19回		コンピュータの仕組み						
第20回		情報のデジタル表現						
第21回		情報のデジタル表現						
第22回		情報ネットワーク						
第23回		情報ネットワーク						
第24回		復習						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		コンピュータを利用した問題解決(1)						
第27回		コンピュータを利用した問題解決(2)						
第28回		コンピュータを利用した問題解決(3)						
第29回		コンピュータを利用した問題解決(4)						
第30回		コンピュータを利用した問題解決(5)						
第31回		コンピュータを利用した問題解決(6)						
第32回		復習						
第33回	×	学年末試験						
第34回		総括						
オフィスアワー	公務ならびに出張以外の平日放課後17:00-18:00							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	20120326 新規							

学年	1	科目	情報処理基礎	講義	通年	学習教育目標	担当	内田正章 Masaaki UCHIDA
学科(1年は775)	13	科目分類	Introduction to Information Technology	必修	2単位	1		
概要	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際に、ルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、本講義では、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。							
科目目標(到達目標)	コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを持って利用できる。							
教科書 器材等	インターネット社会を生きるための情報倫理2012(実教出版) 情報セキュリティ読本三訂版(実教出版) ネットワーク社会における情報の活用と技術三訂版(実教出版)							
評価の基準と 方法	4回の定期試験80%、プレゼンテーション・課題レポート・小テスト20%により評価する。授業内容に関わる違法行為等があった場合は特別に減点する場合がある。							
関連科目	各科の情報系科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		総合情報センター利用案内						
第2回		電子メールによる情報の受信・発信						
第3回		Webページによる情報の受信・発信						
第4回		情報社会の個人情報と知的財産						
第5回		情報社会における生活						
第6回		Scratchによるプログラミング実習						
第7回		復習						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		セキュリティを守る技術						
第10回		ワードプロセッサ						
第11回		ワードプロセッサ						
第12回		プレゼンテーション						
第13回		プレゼンテーション						
第14回		プレゼンテーション						
第15回		復習						
第16回	×	前期末試験						
第17回		スプレッドシート						
第18回		スプレッドシート						
第19回		コンピュータの仕組み						
第20回		情報のデジタル表現						
第21回		情報のデジタル表現						
第22回		情報ネットワーク						
第23回		情報ネットワーク						
第24回		復習						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		コンピュータを利用した問題解決(1)						
第27回		コンピュータを利用した問題解決(2)						
第28回		コンピュータを利用した問題解決(3)						
第29回		コンピュータを利用した問題解決(4)						
第30回		コンピュータを利用した問題解決(5)						
第31回		コンピュータを利用した問題解決(6)						
第32回		復習						
第33回	×	学年末試験						
第34回		総括						
オフィスアワー	非常勤のため、質問に対応できるのは開始前または終了後							
授業アンケートへの対応								
備考								
更新履歴	20120330 新規							

学年	1	科目	情報処理基礎	講義	通年	学習教育目標	担当	長澤正氏
学科(1年は775)	14	科目分類	Introduction to Information Technology	必修	2単位	1		Masashi NAGASAWA
概要	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際に、ルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、本講義では、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。							
科目目標(到達目標)	コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを持って利用できる。							
教科書 器材等	インターネット社会を生きるための情報倫理2012(実教出版) 情報セキュリティ読本三訂版(実教出版) ネットワーク社会における情報の活用と技術三訂版(実教出版)							
評価の基準と 方法	4回の定期試験80%、プレゼンテーション・課題レポート・小テスト20%により評価する。授業内容に関わる違法行為等があった場合は特別に減点する場合がある。							
関連科目	各科の情報系科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		総合情報センター利用案内						
第2回		電子メールによる情報の受信・発信						
第3回		Webページによる情報の受信・発信						
第4回		情報社会の個人情報と知的財産						
第5回		情報社会における生活						
第6回		Scratchによるプログラミング実習						
第7回		復習						
第8回	×	前期中間試験						
第9回		セキュリティを守る技術						
第10回		ワードプロセッサ						
第11回		ワードプロセッサ						
第12回		プレゼンテーション						
第13回		プレゼンテーション						
第14回		プレゼンテーション						
第15回		復習						
第16回	×	前期末試験						
第17回		スプレッドシート						
第18回		スプレッドシート						
第19回		コンピュータの仕組み						
第20回		情報のデジタル表現						
第21回		情報のデジタル表現						
第22回		情報ネットワーク						
第23回		情報ネットワーク						
第24回		復習						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		コンピュータを利用した問題解決(1)						
第27回		コンピュータを利用した問題解決(2)						
第28回		コンピュータを利用した問題解決(3)						
第29回		コンピュータを利用した問題解決(4)						
第30回		コンピュータを利用した問題解決(5)						
第31回		コンピュータを利用した問題解決(6)						
第32回		復習						
第33回	×	学年末試験						
第34回		総括						
オフィスアワー	最初の授業で説明する							
授業アンケートへの対応								
備考								
更新履歴	20120330 新規							

学年	1	科目	情報処理基礎	講義	通年	学習教育 目標	担当	望月孔二，山之内亘 K. MOCHIZUKI, W. YAMANOUCHI
学科(1年は775)	15	科目 分類	Introduction to Information Technology	必修	2単位	1		
概要	コンピュータの普及により情報社会となった現在では、コンピュータを使った世界でも実社会と同様にルールとマナーが求められる時代になってきている。特に、最近ではコンピュータやネットワークを利用した際に、ルールやマナーの欠如が原因となり、トラブルに巻き込まれたり、逆に知らず知らずのうちにトラブルを起こしていることがある。これらの現状を踏まえ、本講義では、情報モラルを含めたコンピュータ全般の話題について広く講義し、情報社会においてコンピュータを適正に使うための最低限の知識を身につけることを目的とする。							
科目目標 (到達目標)	コンピュータの仕組みを理解し、コンピュータ機器やネットワークをルールやマナーを持って利用できる。							
教科書 器材等	インターネット社会を生きるための情報倫理2012(実教出版) 情報セキュリティ読本三訂版(実教出版) ネットワーク社会における情報の活用と技術三訂版(実教出版)							
評価の基準と 方法	4回の定期試験80%、プレゼンテーション・課題レポート・小テスト20%により評価する。授業内容に関わる違法行為等があった場合は特別に減点する場合がある。							
関連科目	各科の情報系科目							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		総合情報センター利用案内						
第2回		電子メールによる情報の受信・発信						
第3回		Webページによる情報の受信・発信						
第4回		情報社会の個人情報と知的財産						
第5回		情報社会における生活						
第6回		復習						
第7回	×	前期中間試験						
第8回		Scratchによるプログラミング実習						
第9回		セキュリティを守る技術						
第10回		ワードプロセッサ						
第11回		ワードプロセッサ						
第12回		プレゼンテーション						
第13回		プレゼンテーション						
第14回		プレゼンテーション						
第15回		復習						
第16回	×	前期末試験						
第17回		スプレッドシート						
第18回		スプレッドシート						
第19回		コンピュータの仕組み						
第20回		情報のデジタル表現						
第21回		情報のデジタル表現						
第22回		情報ネットワーク						
第23回		情報ネットワーク						
第24回		復習						
第25回	×	後期中間試験						
第26回		コンピュータを利用した問題解決(1)						
第27回		コンピュータを利用した問題解決(2)						
第28回		コンピュータを利用した問題解決(3)						
第29回		コンピュータを利用した問題解決(4)						
第30回		コンピュータを利用した問題解決(5)						
第31回		コンピュータを利用した問題解決(6)						
第32回		復習						
第33回	×	学年末試験						
第34回		総括						
オフィスアワー	望月：毎日昼休み							
授業アンケート への対応								
備考								
更新履歴	20120326 新規							